



# 富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和7年4月1日

ヤマサン食品工業株式会社

代表取締役社長 藤岡 宏年

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

1 取組み期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p><b>【目標】</b> 安全で、おいしくて、便利な食材を提供するとともに、レシピの提案や食品ロス削減にも取り組みます</p> <p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富山県産大豆4品種(シュレイ、エンレイ、黒、青)の使用を明記した製品9アイテム生産し、その他11製品でも使用しました <ul style="list-style-type: none"> <li>R6年度の県産大豆仕入数量 155トン</li> </ul> </li> <li>ホームページやSNSにて年間通じてレシピ提案を行いました。年間のレシピ提案実績:61品</li> <li>[食品ロス削減] R6年度も継続して定期的に「フードバンクとやま」に寄贈 カレーの具や豚汁の具等計378パック寄贈</li> <li>[食品ロス削減] 年2回社員によるフードドライブを実施し、最寄り福祉施設に寄贈(合計食品点数247点)</li> <li>[食品ロス削減] R6年度は6アイテムにおいて賞味期限の延長を実現しました</li> </ul>
2	<p><b>【目標】</b> 仕事と子育てが両立できる働きやすい環境づくり、そして健康で長く働き続けられる企業を目指します</p> <p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福利厚生の利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>婦人科がん検診費用を会社で負担(R6年度 6名受診)</li> <li>インフルエンザワクチン接種の助成(R6年度 21名利用)</li> </ul> </li> <li>あいさつ運動の実施(コミュニケーション向上を目的として年3回実施(4月,7月,11月実施))</li> <li>教育制度の充実、スキル向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア形成・職域拡大の為に必要な研修受講や資格取得の費用を会社で負担</li> <li>セミナー研修参加(年間15件)</li> <li>資格等(保護具着用管理責任者、化学物質管理者、各1名)</li> </ul> </li> </ul>
3	<p><b>【目標】</b> 環境負荷の低減、及び地域社会への貢献に取り組みます</p> <p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1,2年目は50%超、3年目のR6年度はカーボンニュートラル達成(74万8千kwh分のFIT非化石証書購入) <ul style="list-style-type: none"> <li>本社工場及び事務所の年間使用電力100%を実質再エネ化(年間CO2排出量:384.47トン削減)</li> </ul> </li> <li>経営の重要課題として2年連続「節電対策の実施」を宣言し、全社で取り組む(R6年度実績:前年対比で2.3%削減)</li> <li>ペーパーレス化推進により4年連続削減の見通し(本社事務所:前年対比で約1.5%削減の見通し)</li> <li>バイオマスインキ使用パッケージへの切替え推進(R6年度は新たに6アイテム増加、計53アイテムに拡大)</li> <li>FSC認証段ボールへの切替え(本社製造自社ブランド品分は100%切替え完了)</li> <li>SDGsリース及びレンタル契約で、契約料の一部を森林保全やカーボンオフセットに取り組む団体に寄付</li> <li>年2回最寄りの児童館へ絵本寄贈、ニューイヤーコンサート協賛及び最寄り中学校吹奏楽部へ無料チケット寄贈、中学3年生の職場体験活動「14歳の挑戦」受入れ、使用済み切手の寄贈、地元開催の音楽フェス協賛など地域社会への貢献に取り組みました</li> </ul>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。